

目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～2
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 3
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 3
- ★ 全数把握感染症集計表 P 4
- ★ 定点把握感染症集計表 P 5～9
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 10～14
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 15～18
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 19～20
- ★ 新型コロナウイルスのPCR検査等の状況 P 21
- ★ 南半球オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況 P 22
- ★ 日本の季節性インフルエンザの流行状況 P 23



発生動向総覧

《第26週コメント》 7月7日集計分

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（2）、浜松市（4））
- 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症（東部（1）、御殿場（1））
- 4 類感染症 E型肝炎（浜松市（1）、）重症熱性血小板減少症候群（西部（1））、チクングニア熱（浜松市（1））、レジオネラ症（静岡市（1）、西部（1））
- 5 類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症（静岡市（1））、梅毒（御殿場（1）、静岡市（1）、中部（1）、浜松市（1））

新型コロナウイルス等感染症

新型コロナウイルス（賀茂（62）、熱海（32）、東部（364）、御殿場（107）、富士（156）、静岡市（480）、中部（230）、西部（347）、浜松市（751））

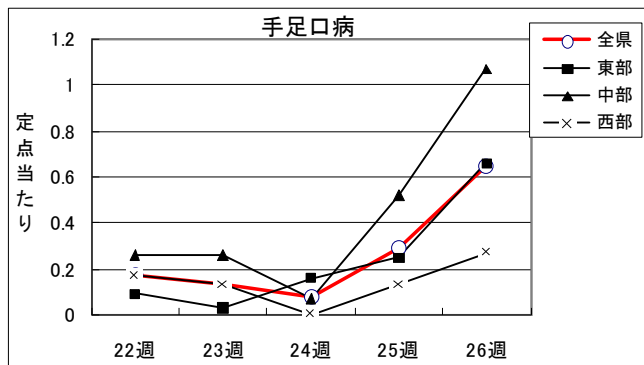
◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

令和4年第26週(6/27~7/3)の動向

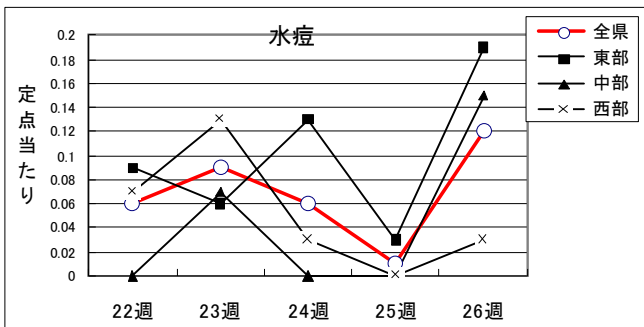
手足口病

全県で罹患数58、定点当たり0.65の患者発生あり、県全体で前週からさらに大幅に増加。特に東部及び中部地区での増加が顕著。東部地区で定点当たり0.66、中部地区で定点当たり1.07、西部地区で定点当たり0.27の患者発生報告。流行期に入ったことが示唆される。



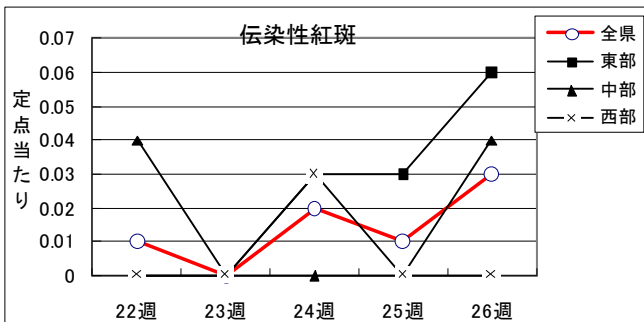
水痘

全県で罹患数11、定点当たりの0.12の患者発生あり、県全体で前週から大幅に増加。特に東部及び中部地区で増加が顕著。東部地区で定点当たり0.19、中部地区で定点当たり0.15、西部地区で定点当たり0.03の患者発生あり。流行期に入った可能性あり、今後の動向に注視。



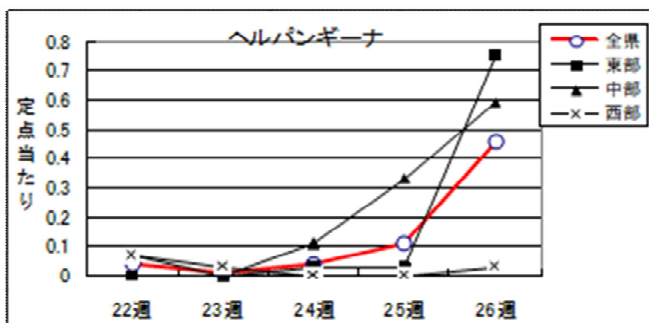
伝染性紅斑

全県で罹患数3、定点当たり0.03の患者発生あり、全県では著しく増加、西部地区のみ横ばい。東部及び中部地区での増加が顕著。東部地区で定点当たり0.06、中部地区で定点当たり0.04の患者発生あり、西部地区での患者発生はなし。



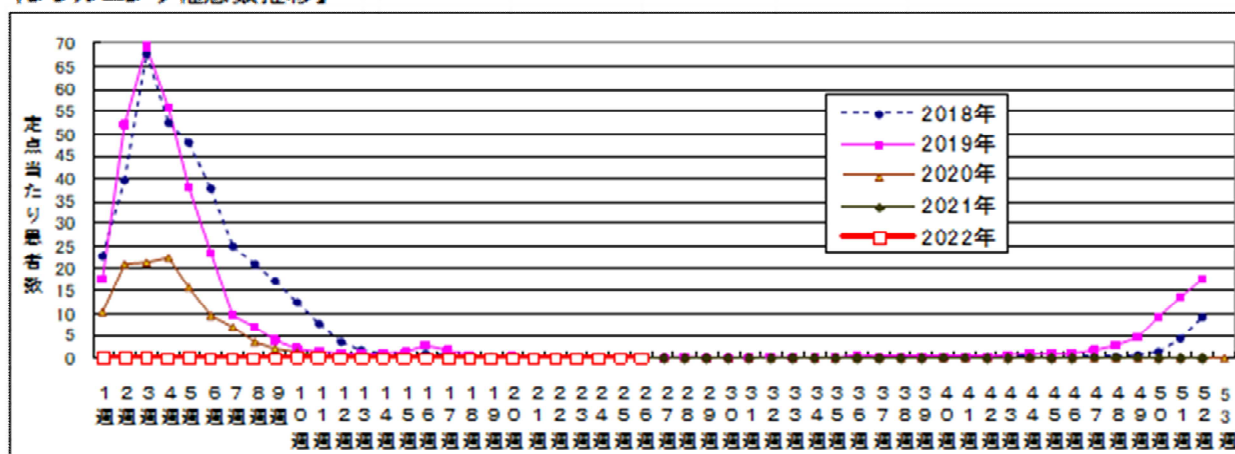
ヘルパンギーナ

全県で罹患数41、定点当たり0.46の患者発生あり、前週からの増加傾向が継続。東部地区で定点当たり0.75、中部地区で定点当たり0.69、西部地区で定点当たり0.03の患者発生あり。流行期に入った兆し。



- ・風疹、麻疹とも全県で発生なし。
- ・マイコプラズマ肺炎は全県で発生なし。前週から5週連続。
- ・流行性耳下腺炎の発生は、中部地区のみで定点当たり0.04の患者発生あり。東部及び西部地区での発生はなし。全県で前週より減少。

インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況】

・令和4年は18週を境に患者数が急上昇傾向(全国と同様)。26週は前週から引き続き増加。

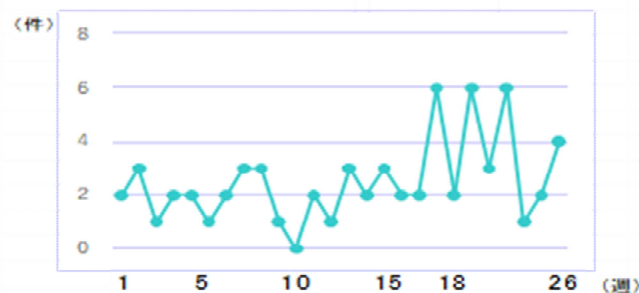


図3 静岡県の令和4年26週までの届け出患者数の推移

【バンコマイシン耐性腸球菌(VRED)の発生状況】

・届け出件数は、2019年から増加しはじめ、令和4年は26週までに14件とハイペースで増加している。

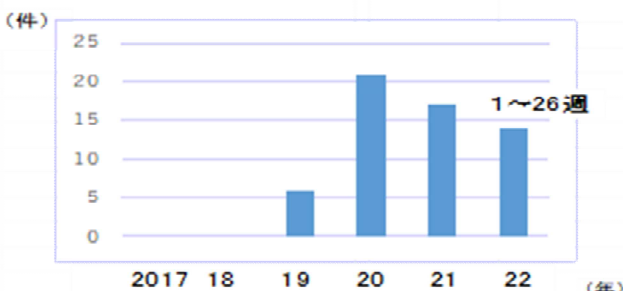


図 静岡県の過去5年間のVRE届出数

◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警 報 なし

注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第26週（6月27日～7月3日）

光ヶ丘小児科（三島市）「ノロウイルス 2名、RSウイルス 4名、ヒトメタニューモウイルス 3名、咽頭アデノウイルス 6名、腸管アデノウイルス 1名、カンピロバクター肺炎 3名」

窪田医院（三島市）「ヒトメタニューモウイルス 1名（3歳女兒）」

安田内科小児科医院（御殿場市）「ノロウイルス 1名（2歳男児）」

静岡市立静岡病院（静岡市）「アデノウイルス感染症 1名（1歳男児）」

かどたこどもクリニック（静岡市）「ヒトメタニューモウイルス気管支炎 8名（3歳女兒1名、4歳男児3名、4歳女兒2名、5歳女兒2名）」

幸田子供クリニック（浜松市）「ヒトメタニューモウイルス 5名（3歳女兒3名、4歳女兒2名）」

天竜こども病院（浜松市）「アデノウイルス咽頭炎 2名」

- ・ 静岡県の感染症週報は、組織改編に伴い感染症対策課において作成しています。
- ・ 引き続き、疾病対策課ホームページにより御覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html>

2022年 26 週

疾患名	区分	静岡県						全国					
		21週	22週	23週	24週	25週	今週	年累計	23週	24週	25週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		15	2	8	5	8	6	177	237	274	268	220	7,309
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
新型コロナウイルス		4,605	3,199	2,143	1,644	1,752	2,529	153,841	108,950	98,245	102,766	136,357	7,641,880
コレラ													
細菌性赤痢							1	1			1		13
腸管出血性大腸菌感染症		3	1	1	2		2	12	62	81	80	87	937
腸チフス												1	9
パラチフス											1		3
E型肝炎							1	1	11	8	8	5	229
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎				1				1	3	4	2		44
エキノコックス症											1		14
糞熱													
オウム病													4
オムスク出血熱													
回帰熱												1	7
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													
サル痘													
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群						1	1	4	5	3	5	5	66
腎臓慢性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱							1	1			1	3	4
つつが虫病								1	4	3	1	3	94
デング熱								1			1	2	16
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱				1	1			2	8	17	11	7	126
日本脳炎													1
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
亮しんチフス													
ポツリヌス症													1
マラリア									1	2			9
野兔病													
ライム病											1		3
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													1
レジオネラ症		6			1	2	2	26	46	52	48	76	859
レプトスピラ症										1			3
ロッキー山紅斑熱													
アムール赤痢								5	8	5	6	9	251
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								1	2	6	3	2	107
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				2	1			18	21	23	29	22	799
急性弛緩性麻痺								1		2			12
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)			1		1			6	6	7	5	2	149
クリプトスポリジウム症											2		5
クロイツフェルト・ヤコブ病								3	2	6	1	2	90
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1			6	10	11	9	9	373
後天性免疫不全症候群				1				7	7	14	17	12	448
ジアルジア症										1		4	19
慢性的インフルエンザ菌感染症								3	1	1	3	2	90
慢性的髄膜炎菌感染症													4
慢性的肺炎球菌感染症							1	22	16	11	18	18	645
水痘(入院例に限る)								6	4	6	4	1	159
先天性風しん症候群													
梅毒		6	3	6	1	2	4	117	159	167	136	178	5,615
播種性クリプトコックス症			1					1	2	3	1	2	72
破傷風								2	4			3	41
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		1			14	2	4		5	79
百日咳								2	4	11	8	6	269
風しん											1	1	4
麻疹													1
薬剤耐性アシネトバクター感染症													4
新型インフルエンザ等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

定点把握感染症集計表(届出数)

2022年 26 週

	静岡県							全国				
	21週	22週	23週	24週	25週	今週	計	23週	24週	25週	今週	計
RSウイルス感染症	26	11	7	18	14	17	93	838	1,346	1,828	2,931	6,943
咽頭結膜熱	18	21	15	34	38	53	179	1,311	1,301	1,339	1,357	5,308
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	6	18	11	44	10	93	1,087	1,169	1,089	1,030	4,375
感染性胃腸炎	402	382	380	473	404	441	2,482	17,049	17,970	16,675	15,013	66,707
水痘	4	5	8	5	1	11	34	251	259	260	287	1,057
手足口病	7	15	12	7	26	58	125	807	1,131	1,881	3,062	6,881
伝染性紅斑		1		2	1	3	7	26	41	45	49	161
突発性発しん	30	35	24	30	34	33	186	1,285	1,202	1,265	1,289	5,041
ヘルパンギーナ		4	1	4	10	41	60	166	251	451	764	1,632
流行性耳下腺炎	5	5	5	2	4	1	22	127	102	114	131	474
インフルエンザ								7	6	6	12	31
急性出血性結膜炎								1	11	2	6	20
流行性角結膜炎	6	6	4	2	2	3	23	148	133	123	154	558
クラミジア肺炎(オウム病は除く)												
細菌性髄膜炎					1		1	5	5	9	3	22
マイコプラズマ肺炎	1						1	8	7	8	8	31
無菌性髄膜炎	1					1	2	10	10	12	10	42
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)										1	3	4

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2022年 26 週

	静岡県						全国			
	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	今週	第23週	第24週	第25週	今週
RSウイルス感染症	0.29	0.12	0.08	0.20	0.16	0.19	0.27	0.43	0.58	0.93
咽頭結膜熱	0.20	0.24	0.17	0.38	0.43	0.60	0.42	0.41	0.43	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.04	0.07	0.20	0.12	0.49	0.11	0.35	0.37	0.35	0.33
感染性胃腸炎	4.52	4.29	4.27	5.31	4.54	4.96	5.42	5.72	5.31	4.78
水痘	0.04	0.06	0.09	0.06	0.01	0.12	0.08	0.08	0.08	0.09
手足口病	0.08	0.17	0.13	0.08	0.29	0.65	0.26	0.36	0.60	0.97
伝染性紅斑		0.01		0.02	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.02
突発性発しん	0.34	0.39	0.27	0.34	0.38	0.37	0.41	0.38	0.40	0.41
ヘルパンギーナ		0.04	0.01	0.04	0.11	0.46	0.05	0.08	0.14	0.24
流行性耳下腺炎	0.06	0.06	0.06	0.02	0.04	0.01	0.04	0.03	0.04	0.04
インフルエンザ										
急性出血性結膜炎								0.02		0.01
流行性角結膜炎	0.27	0.27	0.18	0.09	0.09	0.14	0.21	0.19	0.18	0.22
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
細菌性髄膜炎					0.10		0.01	0.01	0.02	0.01
マイコプラズマ肺炎	0.10						0.02	0.01	0.02	0.02
無菌性髄膜炎	0.10					0.10	0.02	0.02	0.03	0.02
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)										0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

感染症 26 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	17	0.19	53	0.60	10	0.11	441	4.96	11	0.12
賀茂			1	0.50						
熱海							32	8.00	2	0.50
東部	11	0.85	5	0.38	1	0.08	45	3.46	2	0.15
御殿場			10	2.50	1	0.25	43	10.75	2	0.50
富士			1	0.11			21	2.33		
静岡市			8	0.50	2	0.13	58	3.63	3	0.19
中部			5	0.45	3	0.27	60	5.45	1	0.09
西部			8	0.67	1	0.08	56	4.67		
浜松市	6	0.33	15	0.83	2	0.11	126	7.00	1	0.06

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳 (全数報告)		ヘルパンギーナ	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	罹患数	定点当り
総数	58	0.65	3	0.03	33	0.37	0	2	41	0.46
賀茂					-	-				
熱海	1	0.25	1	0.25	5	1.25				
東部	7	0.54			3	0.23		2	10	0.77
御殿場	2	0.50	1	0.25	5	1.25				
富士	11	1.22			3	0.33			14	1.56
静岡市	16	1.00			5	0.31			1	0.06
中部	13	1.18	1	0.09	3	0.27			15	1.36
西部	4	0.33			-	-			1	0.08
浜松市	4	0.22			9	0.50				

保健所名	流行性耳下腺炎		インフルエンザ		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	1	0.01	0		0	0	0	0	89	50
賀茂									2	1
熱海									4	2
東部									13	7
御殿場									4	2
富士									9	6
静岡市									16	9
中部	1	0.09							11	6
西部									12	7
浜松市									18	10

*百日咳は、平成30年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更されました。

感染症 26 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		細菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		3	0.14	0		0		0	
賀茂										
熱海										
東部										
御殿場										
富士			1	0.33						
静岡市										
中部										
西部										
浜松市			2	0.67				0.50		

保健所名	無菌性髄膜炎		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	1	0.10	0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市	1	0.50		

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	7
—	
—	
4	1
—	
3	1
5	2
3	
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

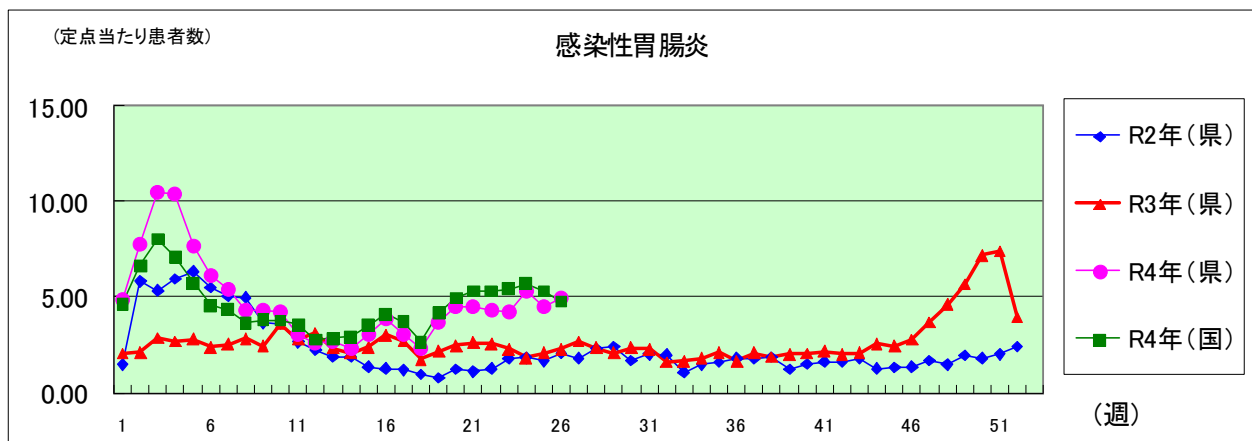
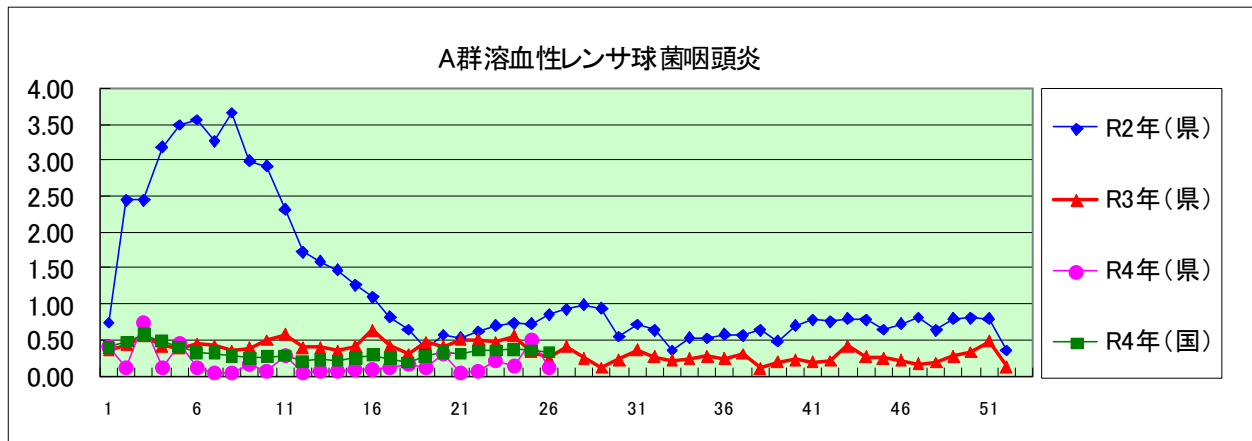
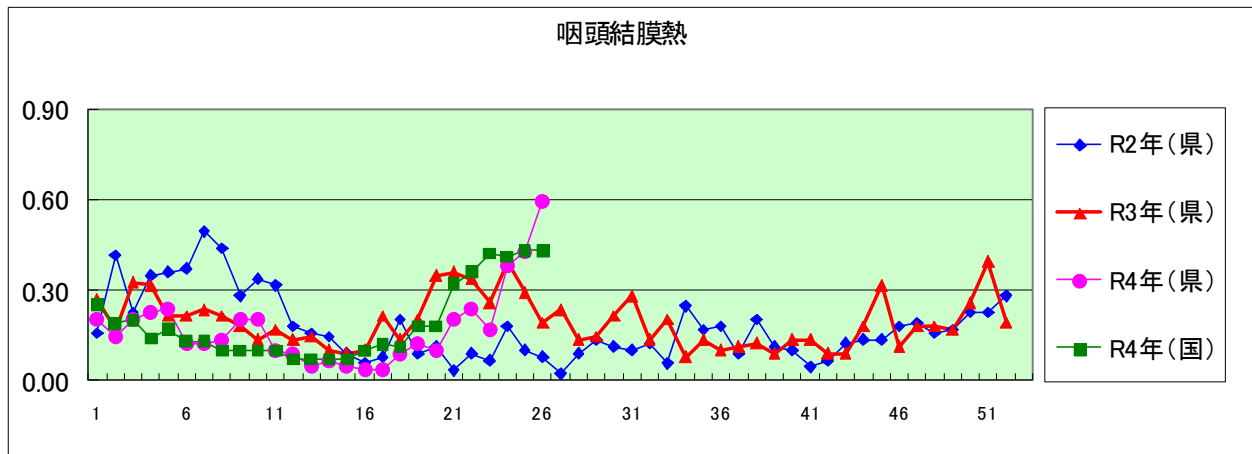
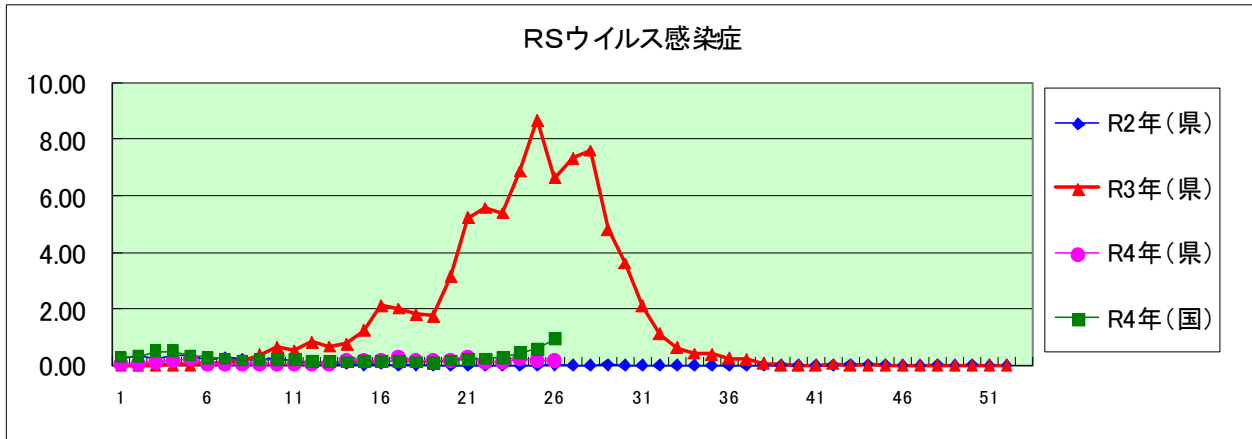
2022年 26 週

年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	2	1	6	4	1	2	1														17
咽頭結膜炎		5	27	7	4	3	1		2	2	1	1									53
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1	2	1	3					2		1							10
感染性胃腸炎	3	28	69	57	56	48	55	23	14	17	9	41	4	17							441
水痘			1		2			2		1		5									11
手足口病		4	23	20	5	6															58
伝染性紅斑			2		1																3
突発性発しん		8	19	4	1	1															33
ヘルパンギーナ		1	11	11	9	8	1														41
流行性耳下腺炎								1													1
インフルエンザ																					
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎								1								1					2
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																				1	1
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

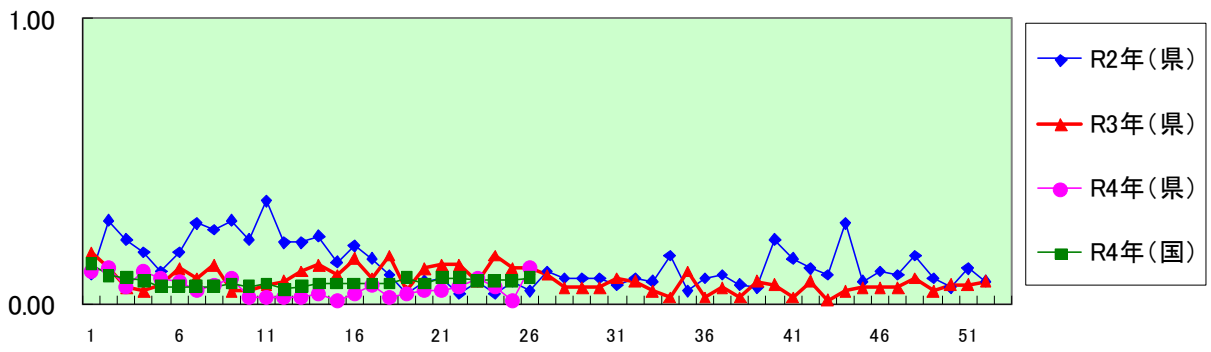
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2022年 26 週

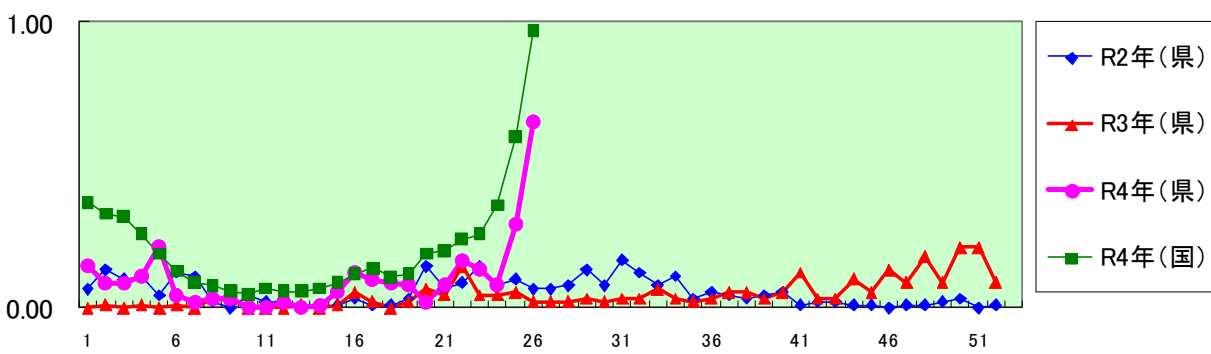
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.02	0.01	0.07	0.04	0.01	0.02	0.01														0.19
咽頭結膜炎		0.06	0.30	0.08	0.04	0.03	0.01		0.02	0.02	0.01	0.01									0.60
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				0.01	0.02	0.01	0.03					0.02		0.01							0.11
感染性胃腸炎	0.03	0.31	0.78	0.64	0.63	0.54	0.62	0.26	0.16	0.19	0.10	0.46	0.04	0.19							4.96
水痘			0.01		0.02			0.02		0.01		0.06									0.12
手足口病		0.04	0.26	0.22	0.06	0.07															0.65
伝染性紅斑			0.02		0.01																0.03
突発性発しん		0.09	0.21	0.04	0.01	0.01															0.37
ヘルパンギーナ		0.01	0.12	0.12	0.10	0.09	0.01														0.46
流行性耳下腺炎								0.01													0.01
インフルエンザ																					
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎								0.05								0.05					0.09
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																				0.10	0.10
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					



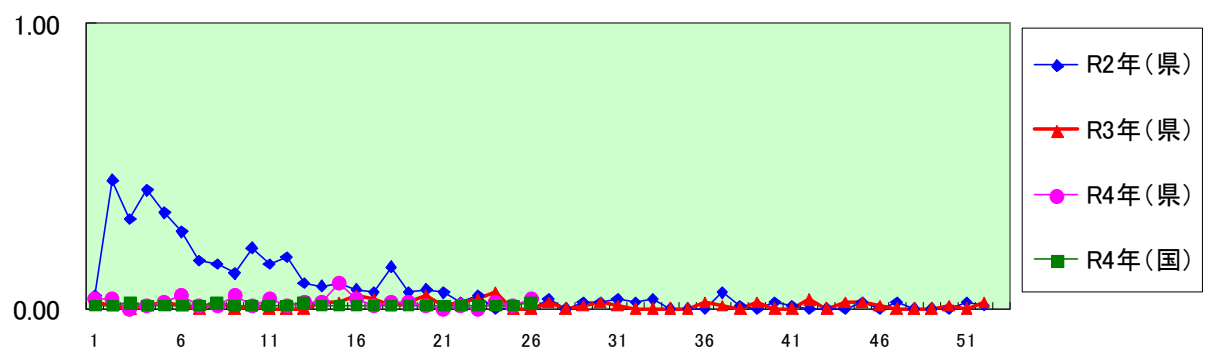
水痘



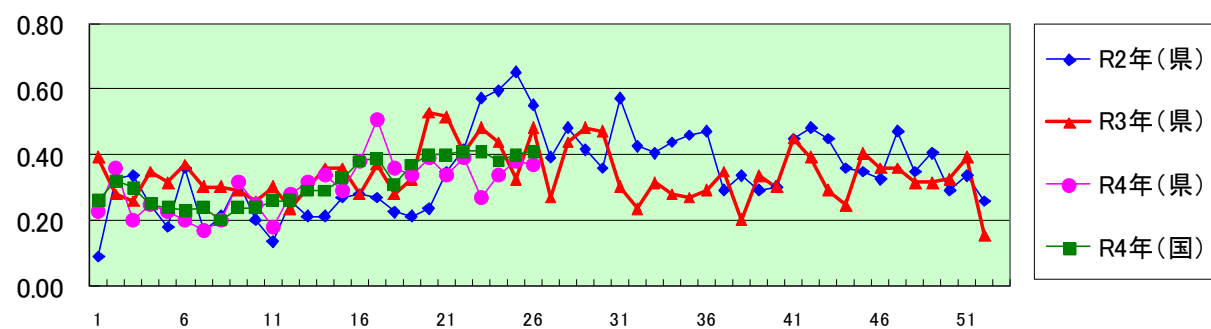
手足口病



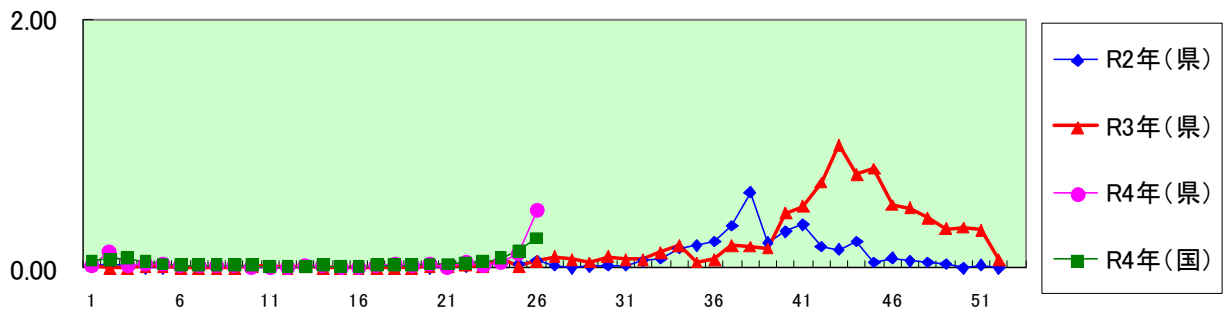
伝染性紅斑



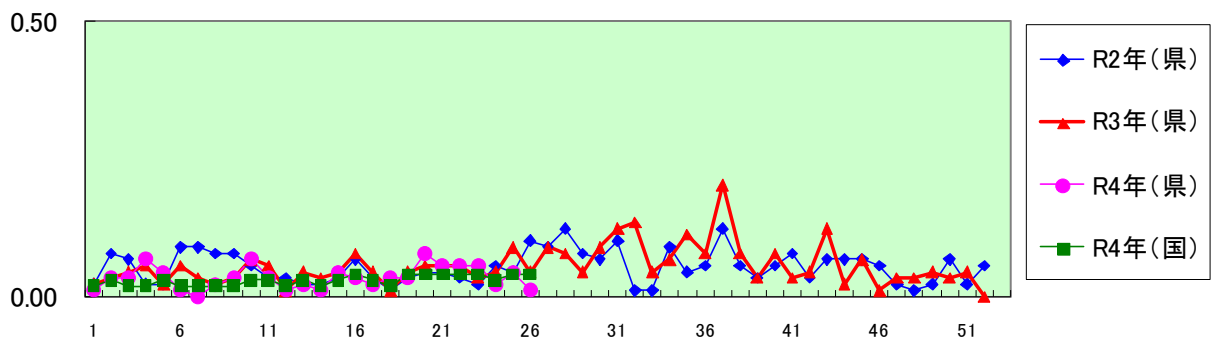
突発性発しん



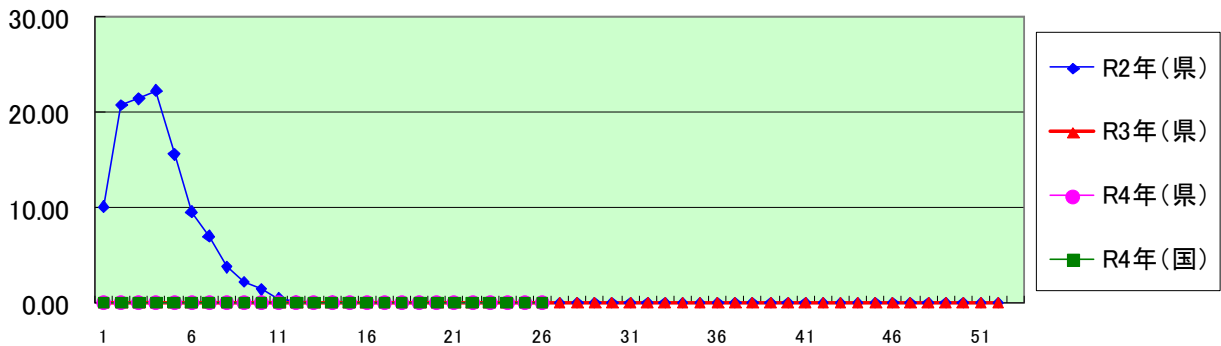
ヘルパンギーナ

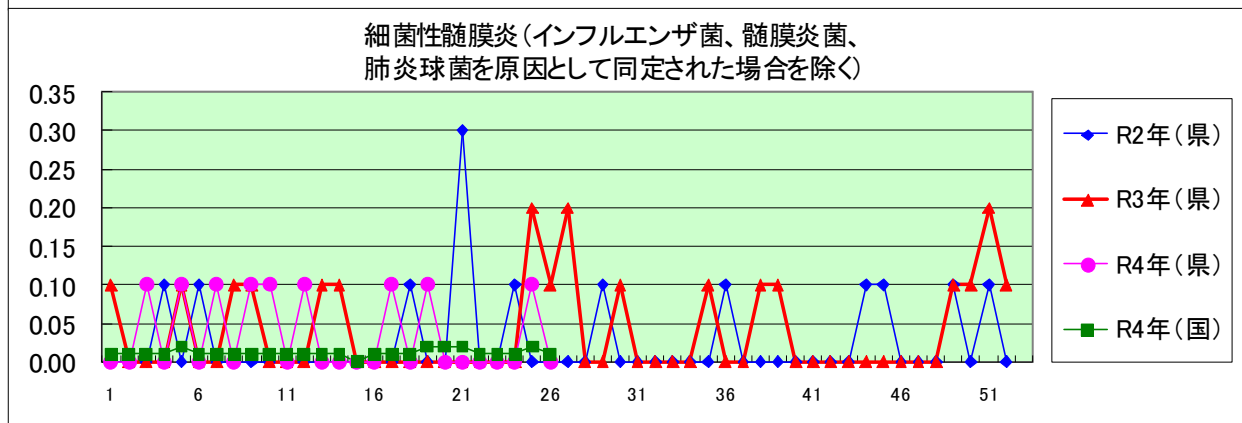
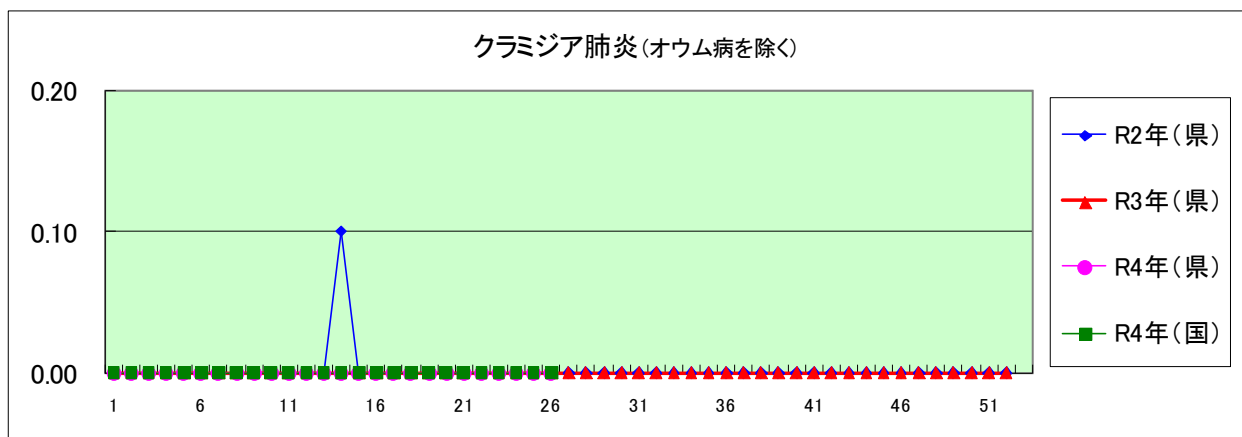
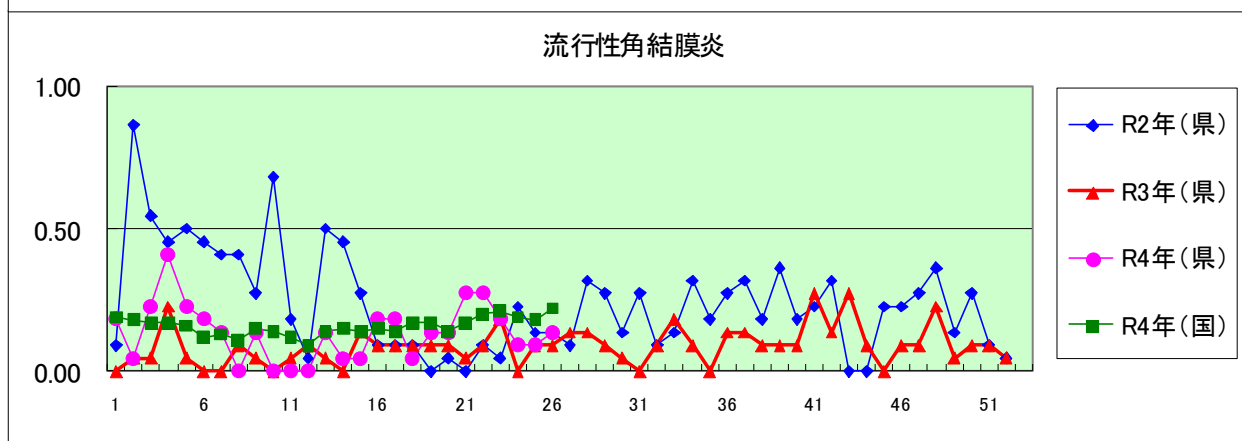
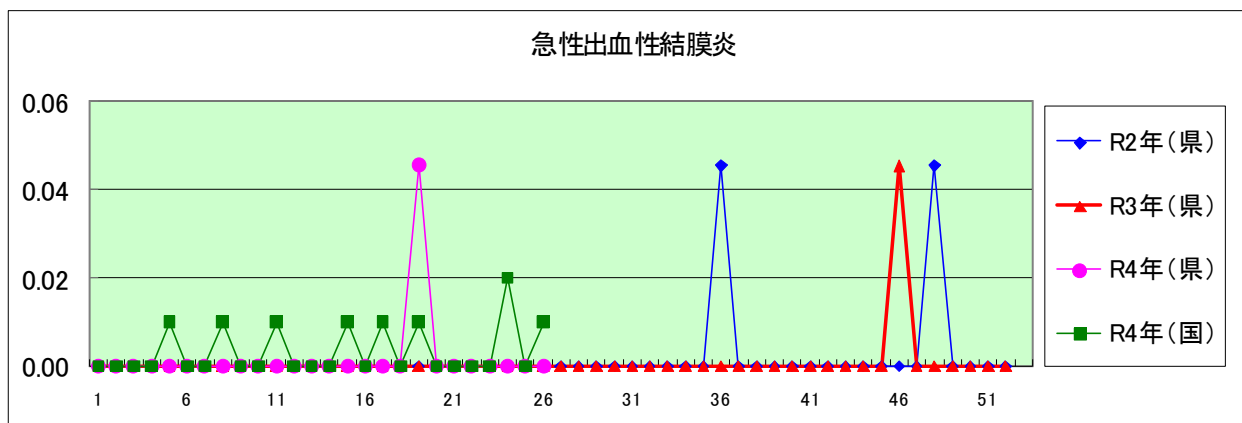


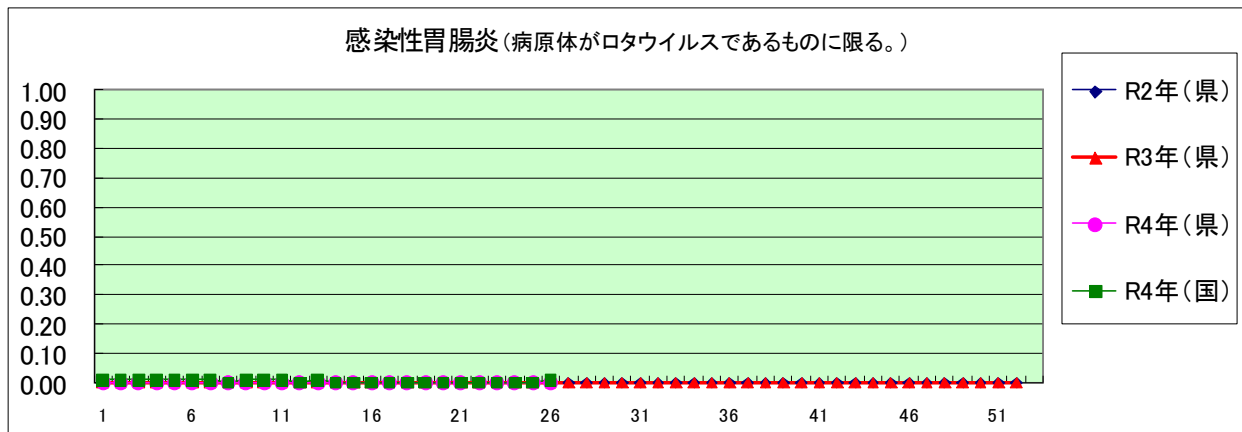
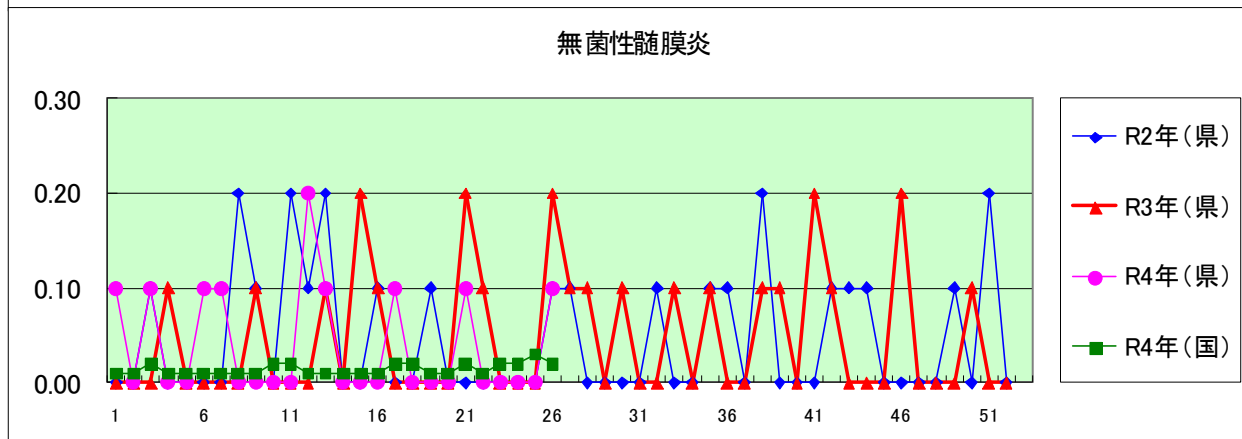
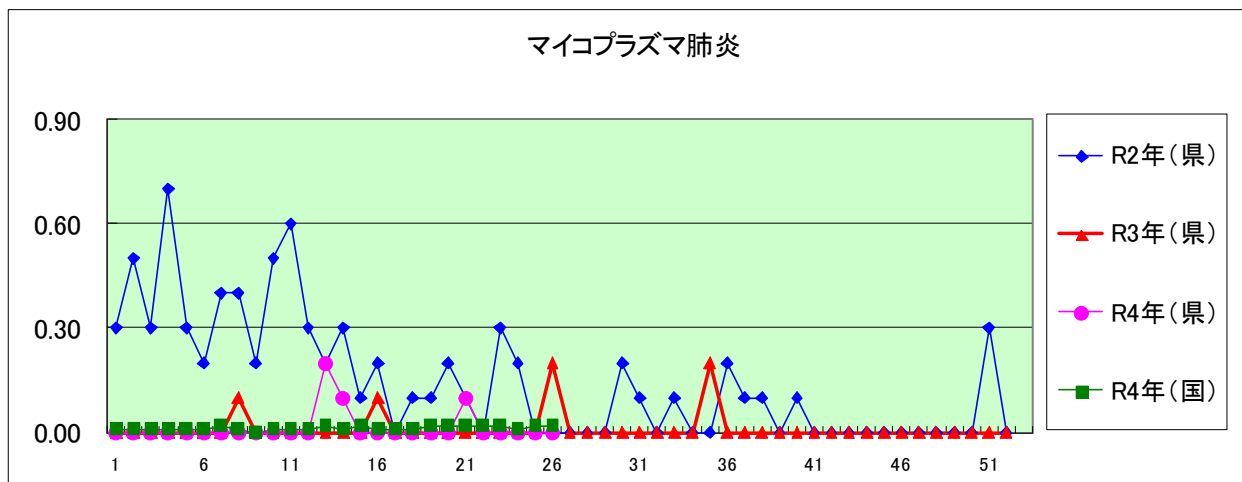
流行性耳下腺炎



インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)







定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2022年 5 月

	静岡県							全国				
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	計	2月	3月	4月	今月	計
性器クラミジア感染症	52	37	55	54	38	61	297	2,201	2,461	2,342	2,533	9,537
性器ヘルペスウイルス感染症	17	18	13	18	9	20	95	616	710	746	731	2,803
尖圭コンジローマ	7	11	8	5	7	5	43	376	455	456	520	1,807
淋菌感染症	12	19	8	10	5	6	60	684	794	791	833	3,102
性器クラミジア感染症(男)	21	16	20	23	13	19	112	1,112	1,255	1,185	1,296	4,848
性器クラミジア感染症(女)	31	21	35	31	25	42	185	1,089	1,206	1,157	1,237	4,689
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	6	3	8		7	29	225	245	291	291	1,052
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	12	12	10	10	9	13	66	391	465	455	440	1,751
尖圭コンジローマ(男)	5	4	5	3		3	20	240	301	293	358	1,192
尖圭コンジローマ(女)	2	7	3	2	7	2	23	136	154	163	162	615
淋菌感染症(男)	7	16	5	7	4	3	42	537	626	613	652	2,428
淋菌感染症(女)	5	3	3	3	1	3	18	147	168	178	181	674
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				1			1	28	40	36	61	165
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14	24	28	33	19	17	135	1,126	1,228	1,118	1,189	4,661
薬剤耐性緑膿菌感染症								11	16	15	16	58

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2022年 5 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	61	2.03	20	0.67	5	0.17	6	0.20
賀茂								
熱海	2	2.00						
東部	10	2.00						
御殿場	4	4.00	5	5.00				
富士	6	2.00	4	1.33	1	0.33		
静岡市	18	3.00	4	0.67	3	0.50	3	0.50
中部	5	1.25	5	1.25			3	0.75
西部	10	2.00	1	0.20				
浜松市	6	1.20	1	0.20	1	0.20		

保健所名	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			17	1.70		
賀茂			4	4.00		
熱海			3	3.00		
東部						
御殿場						
富士						
静岡市			6	3.00		
中部			2	2.00		
西部			1	1.00		
浜松市			1	0.50		

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂	-	1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	-
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2022年 5 月

	静岡県						全国			
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	2月	3月	4月	今月
性器クラミジア感染症	1.73	1.23	1.83	1.80	1.27	2.03	2.24	2.50	2.39	2.58
性器ヘルペスウイルス感染症	0.57	0.60	0.43	0.60	0.30	0.67	0.63	0.72	0.76	0.74
尖圭コンジローマ	0.23	0.37	0.27	0.17	0.23	0.17	0.38	0.46	0.46	0.53
淋菌感染症	0.40	0.63	0.27	0.33	0.17	0.20	0.70	0.81	0.81	0.85
性器クラミジア感染症(男)	0.70	0.53	0.67	0.77	0.43	0.63	1.13	1.28	1.21	1.32
性器クラミジア感染症(女)	1.03	0.70	1.17	1.03	0.83	1.40	1.11	1.23	1.18	1.26
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.20	0.10	0.27		0.23	0.23	0.25	0.30	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.40	0.40	0.33	0.33	0.30	0.43	0.40	0.47	0.46	0.45
尖圭コンジローマ(男)	0.17	0.13	0.17	0.10		0.10	0.24	0.31	0.30	0.36
尖圭コンジローマ(女)	0.07	0.23	0.10	0.07	0.23	0.07	0.14	0.16	0.17	0.16
淋菌感染症(男)	0.23	0.53	0.17	9.00	0.13	0.10	0.55	0.64	0.62	0.66
淋菌感染症(女)	0.17	0.10	0.10	0.10	0.03	0.10	0.15	0.17	0.18	0.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0.10			0.06	0.08	0.08	0.13
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.40	2.40	2.80	3.30	1.90	1.70	2.36	2.58	2.34	2.48
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.03	0.03	0.03

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

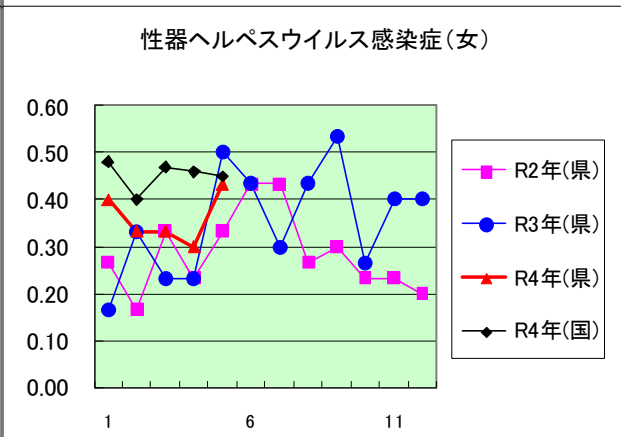
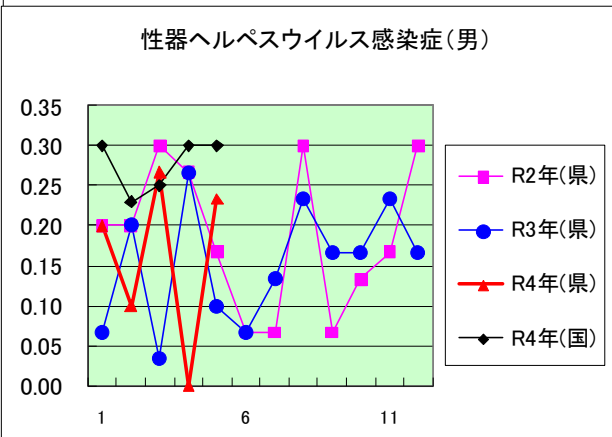
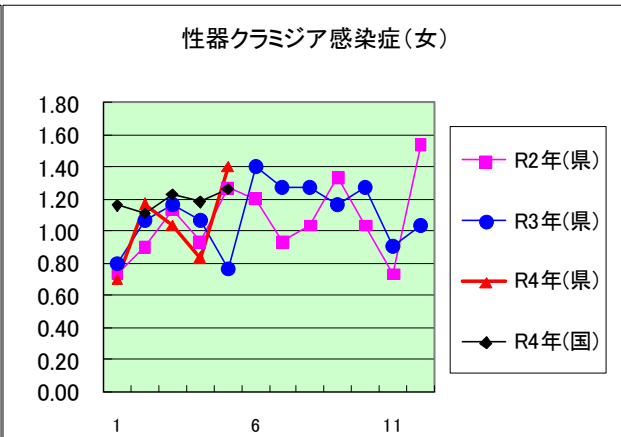
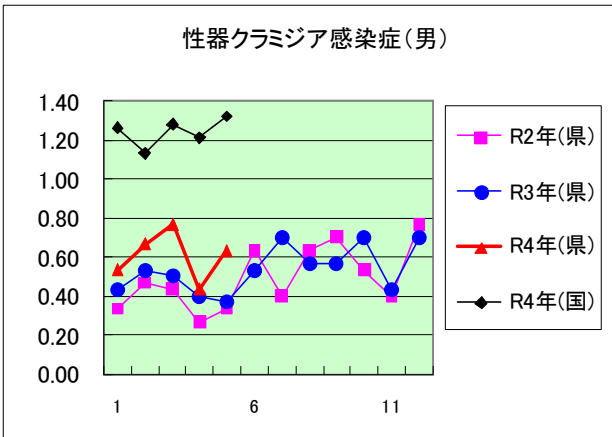
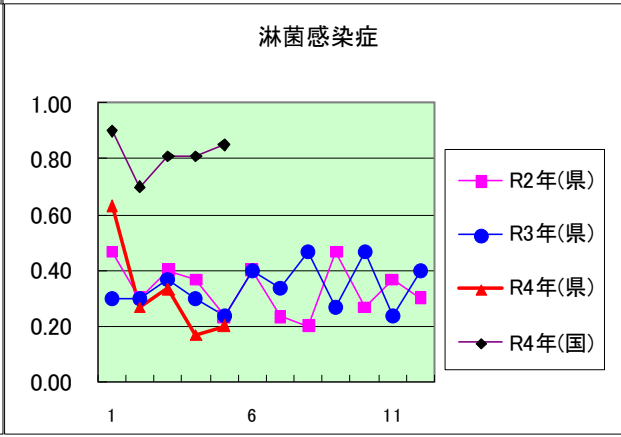
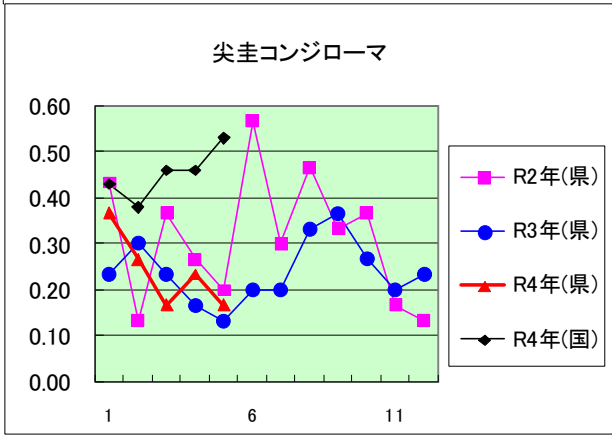
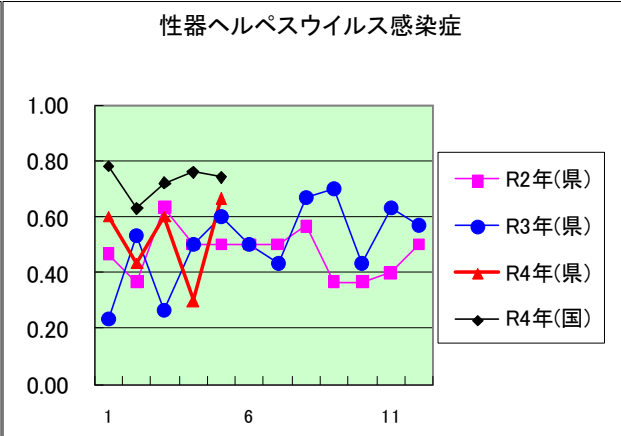
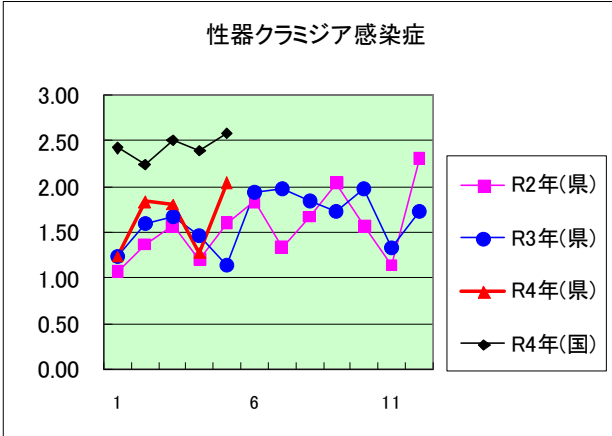
2022年 5 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症				1	3	22	17	10	6	1						1	61
性器ヘルペスウイルス感染症					1	1	4	4	3		1	1	2		1	2	20
尖圭コンジローマ							3	1							1		5
淋菌感染症						1	3			1			1				6
性器クラミジア感染症(男)						5	9	2	2							1	19
性器クラミジア感染症(女)				1	3	17	8	8	4	1							42
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							2		2			1	1			1	7
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	1	2	4	1		1		1		1	1	13
尖圭コンジローマ(男)							1	1							1		3
尖圭コンジローマ(女)							2										2
淋菌感染症(男)							2						1				3
淋菌感染症(女)						1	1			1							3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							1					1	2	1		12	17
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

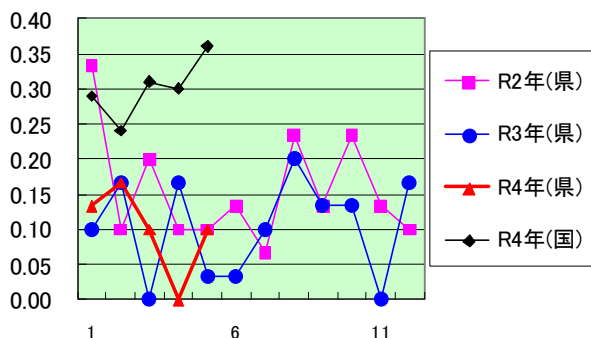
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2022年 5 月

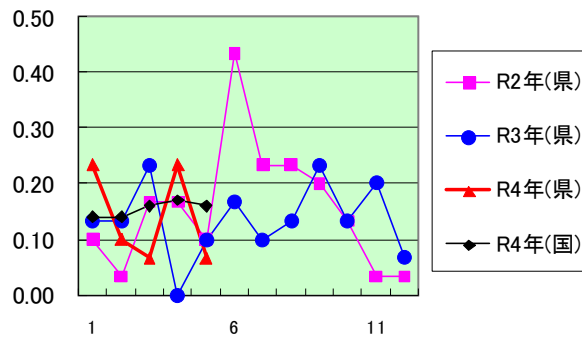
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症				0.03	0.10	0.73	0.57	0.33	0.20	0.03						0.03	2.03
性器ヘルペスウイルス感染症					0.03	0.03	0.13	0.13	0.10		0.03	0.03	0.07		0.03	0.07	0.67
尖圭コンジローマ							0.10	0.03							0.03		0.17
淋菌感染症						0.03	0.10			0.03			0.03				0.20
性器クラミジア感染症(男)						0.17	0.30	0.07	0.07							0.03	0.63
性器クラミジア感染症(女)				0.03	0.10	0.57	0.27	0.27	0.13	0.03							1.40
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.07		0.07			0.03	0.03			0.03	0.23
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.03	0.07	0.13	0.03		0.03		0.03		0.03	0.03	0.43
尖圭コンジローマ(男)							0.03	0.03							0.03		0.10
尖圭コンジローマ(女)							0.07										0.07
淋菌感染症(男)							0.07						0.03				0.10
淋菌感染症(女)						0.03	0.03			0.03							0.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							0.10					0.10	0.20	0.10		1.20	1.70
薬剤耐性緑膿菌感染症																	



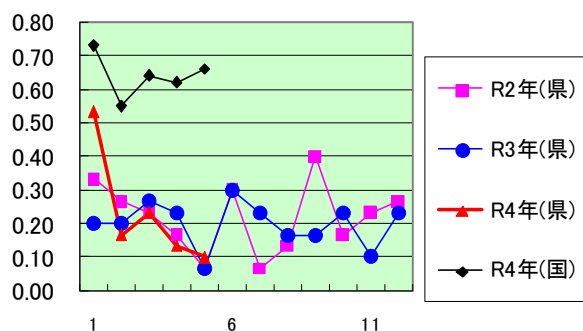
尖圭コンジローマ(男)



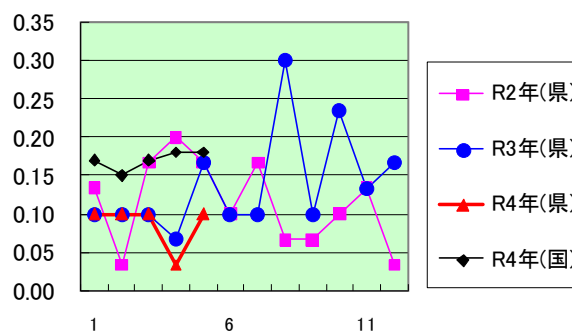
尖圭コンジローマ(女)



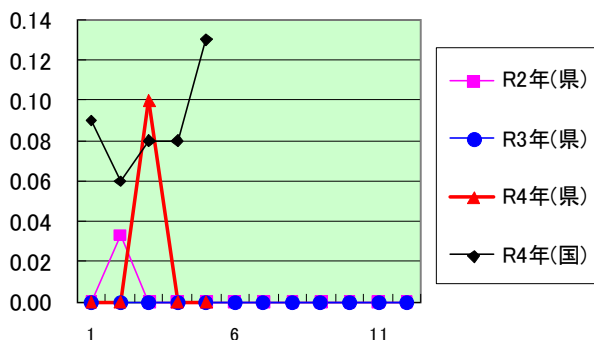
淋菌感染症(男)



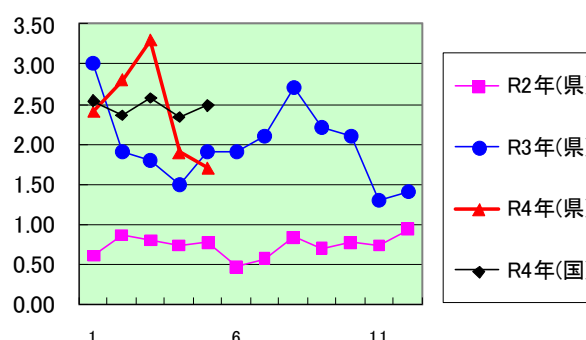
淋菌感染症(女)



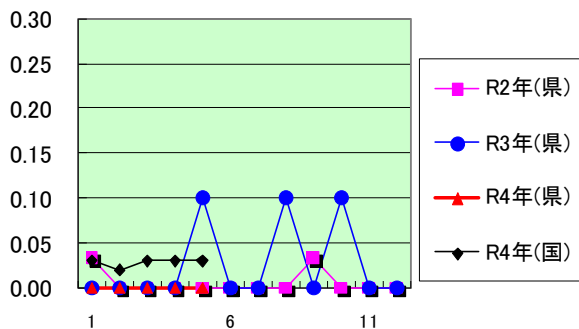
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



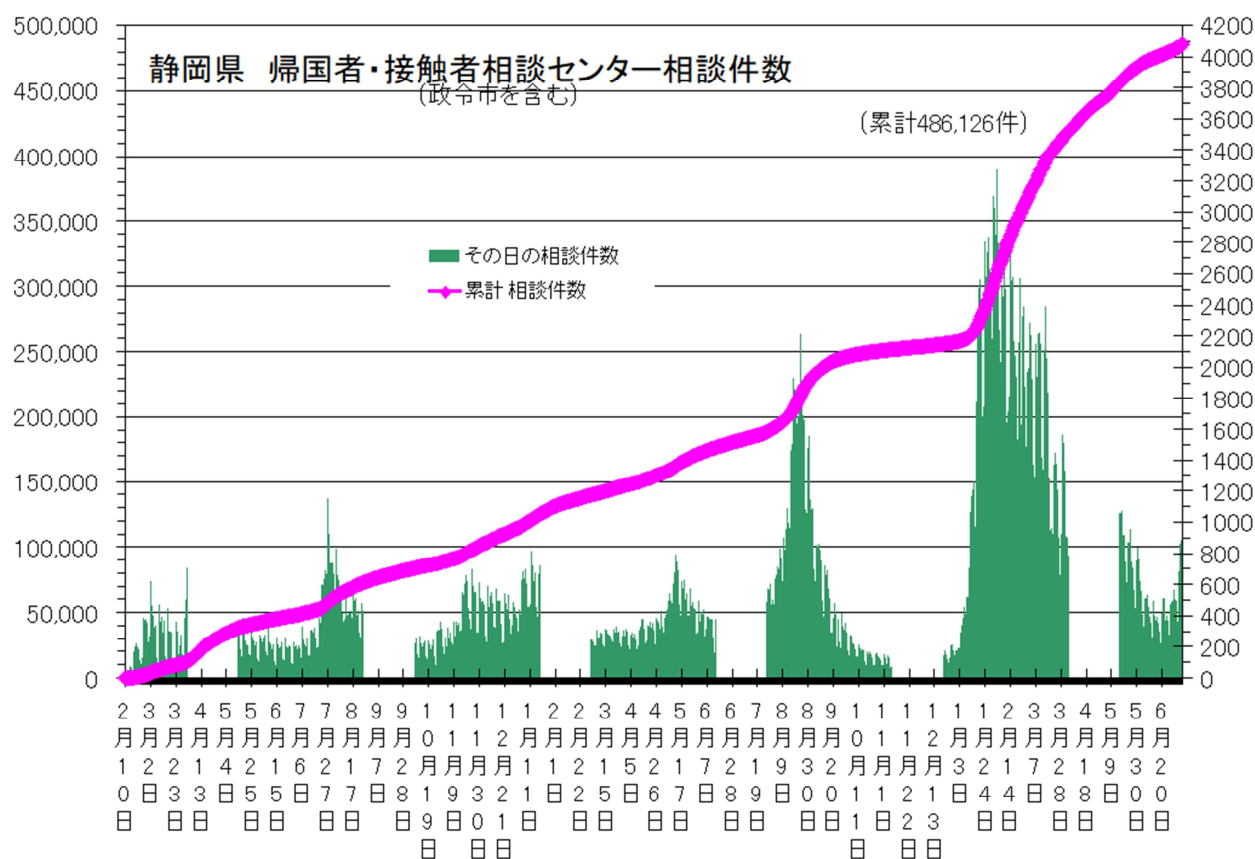
薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

新型コロナウイルスに関するPCR検査状況等（令和4年7月4日時点）

項目	PCR・抗原検査実施者数	1週間の検査実施者数	PCR・抗原検査陽性者数	1週間の陽性者数	1週間の検査陽性率
6月28日 火	2,357		371		
6月29日 水	1,628		402		
6月30日 木	2,284		423		
7月1日 金	2,444	14,967	374	2,590	17.3%
7月2日 土	1,353		451		
7月3日 日	1,024		394		
7月4日 月	3,877		175		

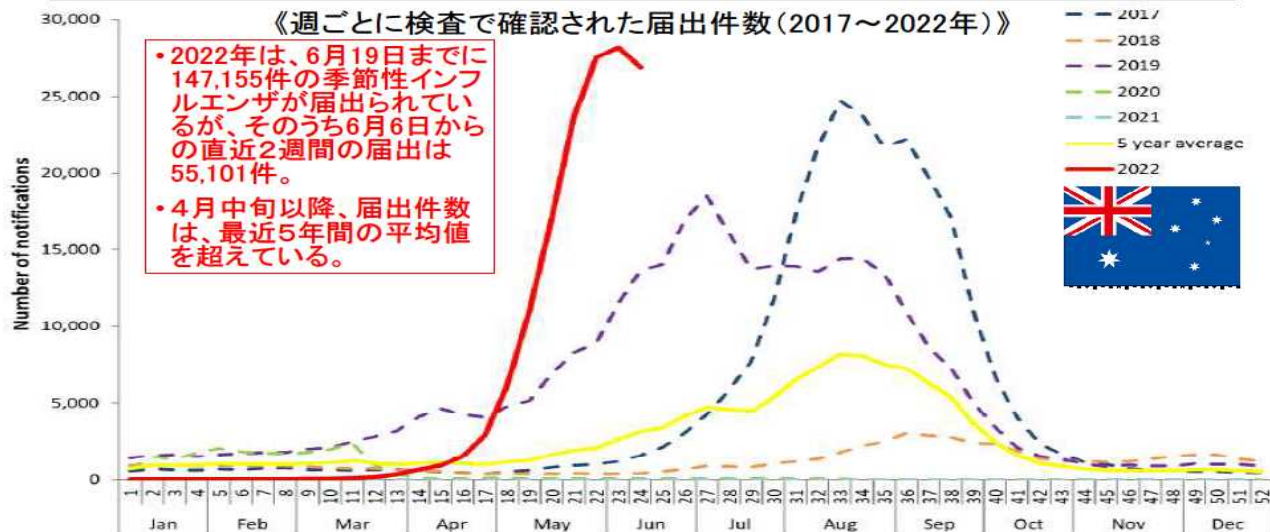


南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)

《"Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022"のKey Messages》

活動性	<ul style="list-style-type: none"> 今年のコミュニティでのインフルエンザ様疾患(ILI)の活動は、2022年3月以降増加している。 2022年のこれまでに、オーストラリア届出疾患サーベイランスシステム(NNDSS)に147,155件が届出されており、そのうち55,101件の届出は6月6日から6月19日の2週間に診断された。 2022年4月中旬から、オーストラリアで報告された検査で確認されたインフルエンザの週ごとの届出数は、5年間の平均を超えている。
重症度	<ul style="list-style-type: none"> 今年初め以来、検査で確認されたインフルエンザ147,155件の届出のうち、54件のインフルエンザ関連の死亡が届出された。 2022年4月の季節的サーベイランスの開始以来、インフルエンザによる入院は監視病院全体で989件報告されており、そのうち6.1%がICUに直接入院した。
影響	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、2022年インフルエンザシーズンが社会に与える潜在的な影響の兆候はない。
リスク集団	<ul style="list-style-type: none"> 2022年の現在までは、5~9歳、5歳未満そして10~19歳が最も高い届出率を示している。
ウイルス学	<ul style="list-style-type: none"> 現在までに、NNDSSに報告された検査で確認されたインフルエンザの届出の83.4%がインフルエンザAであり、そのうち94.8%がインフルエンザA(サブタイプ検査なし)、0.8%がインフルエンザA(H1N1)、4.4%がインフルエンザA(H3N2)。インフルエンザBは届出の0.1%を占め、0.1%未満はAとBの重複感染であり、16.5%は型が分類されていない。
ワクチンとの一致と有効性	<ul style="list-style-type: none"> これまでにWHO協力センターに照会された1,041の検体のうち、インフルエンザA(H1N1)の98.8%、インフルエンザA(H3N2)の96.1%、およびインフルエンザB/ビクトリアは、対応するワクチン成分と抗原的に類似の特徴があった。 今シーズンのワクチンの適合性と有効性を評価するには時期尚早である。

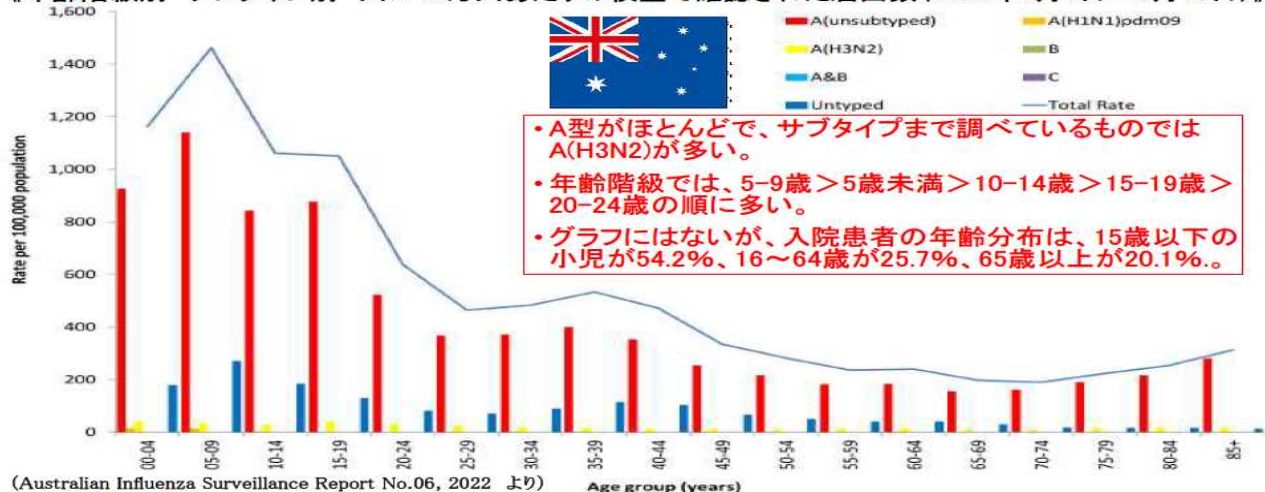
南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)



(Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022より)

南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)

《年齢階級別・サブタイプ別 人口10万人あたりの検査で確認された届出数(2022年1月1日~6月19日)》

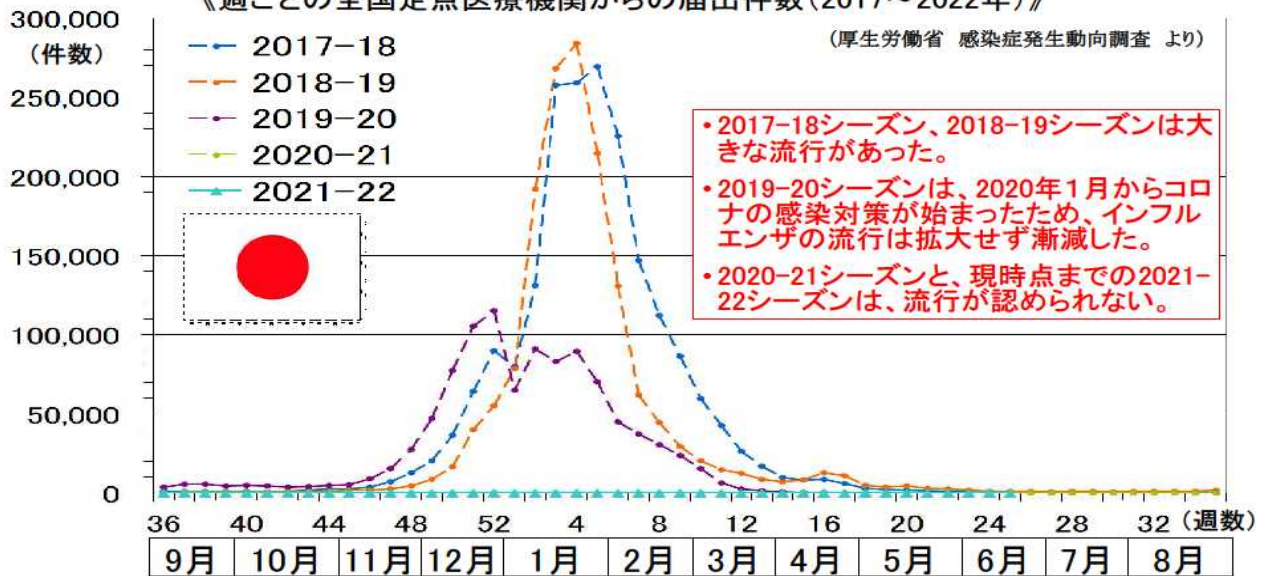


(Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022 より)

URL:[https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu-flucurr.htm/\\$File/w.flu-06-2022.docx](https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu-flucurr.htm/$File/w.flu-06-2022.docx)

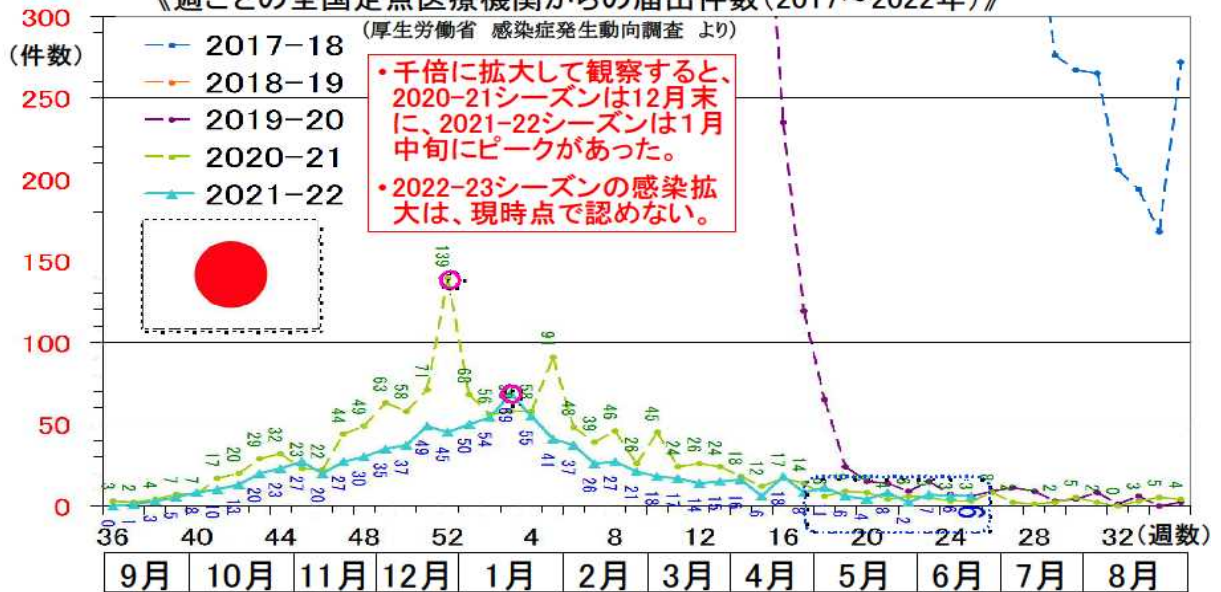
日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/26時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/26時点)【1,000倍拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



- オーストラリアで季節性インフルエンザの急増が見られており、今冬は国内でも2019-20年シーズン以来3年ぶりに、インフルエンザが大流行する可能性が極めて高くなると思われます。
- 2017-18年シーズン以上の過去に例のない超大型流行になる可能性もあり、特に小児の患者が爆発的に増えることが心配されます。
- 例年の流行開始は11月頃ですが、今シーズンはもっと早くなる可能性もあります。
- インフルエンザワクチンの接種が開始されたら、小児や高齢者を中心にいつも以上にできるだけ早く接種してください。
- インフルエンザの感染対策は、新型コロナウイルス対策と全く同じ（マスク着用、手洗い、密を避ける）で大丈夫です。